

高い志 を胸に

平成 30 年度入学式

静岡県立御殿場高等学校

平成 30 年 4 月 20 日（金）発行



御殿場高校への御入学おめでとうございます！

自らの将来を切り拓く「勝負」の 3 年間。決意を新たに、真剣な顔つきの御殿場高校入学生。

187 名が高い志を胸に御高入学

新制度一期生、時代の変革に対応した「創造」3 学科がスタート

117 年目の伝統と
時代の変革に適応
した新たな教育力

御殿場高校は、明治 35 年（1902 年）に開校した、伝統ある専門高校です。この 20 世紀の始まりとともに御殿場高校はスタートしたわけですが、この時期、世界は「近代化」という大きな変革の時期にありました。農学校として始まった御殿場高校も、国や地域の発展のために、そしてそこに生きる人々の生活の豊かさのために、「御厨 みくりや」と呼ばれたこの地に実業高校として建てられました。

2018 年の今日、世界は大きな変革の時期にあります。科学技術の進歩、特にコンピューター技術の発展は、社会を変え、私たちの生活を変え、そして、人間の考え方そのものを変えています。例えば、かつて人間が行っていた仕事のなかには、オートメーション化が進みコンピューター、人工知能（AI）が代替する職種も出てきました。イギリスの研究チームによると、現在ある職種の約半分以上が 10～20 年後には人工知能によって行われるようになり、人間はその仕事から追われてしまうそうです。一方で、人工知能にはすることのできない職業もあります。それは、課題に対して考察し解決策を見出していくような仕事、新しい価値を生み出していくような仕事です。つまり、「創造力」を必要とするような仕事は、決してコンピューターにはできません。人間にしかできないのです。



新入生代表の湯山龍希さん（小山中出身）

御殿場高校は、今年度から「創造工学科」「創造ビジネス科」「生活創造デザイン科」と 3 科の名称を変更し、このような大きな変革に適応した特色ある専門教育を実践していくことになりました。皆さんは、その新しい教育を受ける「一期生」となります。皆さんが、御殿場高校の 3 年間で身につけてもらいたい能力は、新しい価値を創り出していく力です。この力は、基礎学力という礎とその上に立つ工業、商業、家庭という専門性を身につけていくことで育まれていきます。広く様々な学びに「関心を持ち」、そして自分で「考えてみる」「挑戦してみる」。皆さんにしか創り出すことのできない新しい価値があります。そして皆さんが創り出した価値は、皆さん自身を幸せにし、地域を幸せにし、そして世界中の人々を幸せにする可能性を持っています。御殿場高校の 3 年間は、皆さんにとって「創造」の場になるはずです。高い志を胸に、御殿場高校の 3 年間、「勝負」していきましょう！

「耳と目と心で聴く」

今年1年間の学年目標は「耳と目と心で聴く」です。「耳で聴く」は情報を正確に理解する力、「目で聴く」は情報発信者の表情を見て文脈を読み取る（いわゆる「空気を読む」）力、そして「心で聴く」は、耳と目で聴いたことを自分で一度考え、自らのものにしていくことを表します。御殿場高校での生活は、中学までの生活とは違う部分も多々あります。教員や先輩たちの話を「耳と目と心で聴く」ことにより、皆さんは中学生から高校生になっていきます。まずは、先生方、そして先輩たちの話を丁寧に「聴く」ことから高校生活を始めていきましょう。

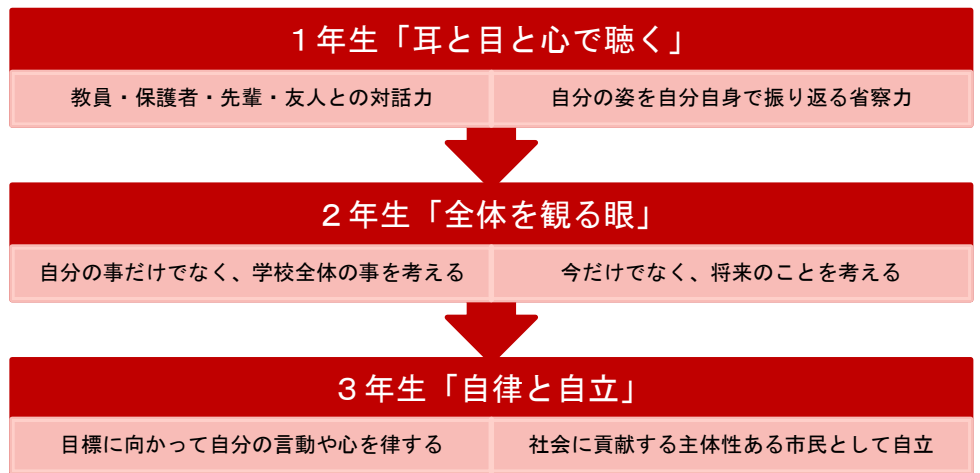
高校は様々な中学校から生徒が集まってくるため、当初は人間関係についてもお互いに気遣うことが大切です。相手の発言の真意は何であるのか、耳と目と心で聴くことが今まで以上に求められます。また、皆さんの中には、LINEなどのSNSでつながっている人間関係もあると思います。そうした、相手の顔を見ることのできない「間接的な」人間関係は、「聴く」ことが非常に難しくなります。というのも、その情報が本当に正しいのかどうか、相手はどのような気持ちで言葉を発しているのか、全くわからないからです。これほど怖いことはありません。皆さんがSNSなどを利用しようと考えているのであれば、直接顔を合わせて会話をするとき以上に、慎重に「聴く」ことが必要になってきます。

こうした、SNSなどによるトラブルは年々増加しています。こういった問題は、学校の外で行われることが多いため、学校の教育力だけでは十分に対応できません。保護者の皆様には、お子様との対話の時間を、1日15分取っていただきたいと入学式でお願いしました。お子様が何を考えているのか、何を楽しみにし、何を不安に感じているのか、ご家庭の中で想いを共有する時間をつくっていただきたい。その点でも、ご家族の意見を「聴く」ことが大切です。

いろいろな人の意見を「聴く」ことができるようになると、自分だけでは気づくことのできなかつたことが、わかるようになります。そして、それは自分自身の言動や考え方を振り返るきっかけになります。いろいろな人たちとの対話の中で、自分のことがよく理解できるようになり、そして自分自身をよりよくしていくことができるのです。

みなさんは、大きな可能性にあふれています。まずは、自分を知るため、他者を知るため、そして社会を知るために「耳と目と心で聴く」。ここから始めてみましょう。

(1学年主任 美那川 雄一)



1 年部教職員紹介



(左下から) 坂本貴志 (11 担任・工業) 鈴木稔実 (12 担任・英語) 田崎唯 (13 担任・数学) 美那川雄一 (主任・地歴) 鶴田敦 (14 担任・理科) 松山陸 (15 担任・公民) 中里武彦 (16 担任・英語) (左上から) 大岩広人 (11 副・体育) 加藤郁美 (12 副・国語) 水上久雄 (13 副・工業) 池谷淳一 (商業) 田中菜々子 (14 副・家庭) 勝間田良美 (15 副・家庭) 勝呂昌子 (16 副・音楽) 池田恵美子 (商業) 佐野浩正 (工科長)

1 年間、よろしくお願いいたします！